

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

冷秋の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果が届き、本校の課題を分析し、改善のための方策等を考えましたので、次の通りお知らせ致します。

◇本校の成果・課題と考えられる事項◇ ※全国平均のポイントよりも特に高い項目(○)と低い項目(△)

国語

- ※基礎知識を問う問題から
 - 登場人物の心情について、情景描写を基に捉える。
 - 目的に応じて、必要な情報を捉える。
 - △日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う。
 - △相手や場面に応じて適切に敬語を使う。
- ※活用力を問う問題から
 - 計画的に話し合うために、司会の発言の役割として適切なものを選ぶ。
 - △目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。

算数

- ※基礎知識を問う問題から
 - 針金1mの重さを求める問題では、除数が小数の場合の式を選ぶ。
 - △答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ。
 - △面積がそろっている2つのシートの混み具合について正しいものを選ぶ。
- ※活用力を問う問題から
 - 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に条件に合う図形を選ぶ。
 - △4色を順に繰り返してつなげ、輪飾り1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を判断する。

理科

- 腕を曲げることで骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く。
- 流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ。
- △乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用する。
- △回路を流れる電流の正しい流れ方について、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ。

質問紙調査(学習・生活環境のアンケート)

- 算数の授業で、もっと簡単に解く方法がないか考えると答えた児童は54%で、平均を10%上回っている。公式やきまりを習うときも54%の児童は、そのわけを理解するようにしており、平均を10%上回っている。今回の算数の問題でも、87%の児童はすべての書く問題で最後まで解答を書こうとし、平均を17ポイント上回っている。
- 5年生の授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと答えた児童は、70%で平均を40%上回り、考えを発表するとき、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと答えた児童は45%で、20%上回っている。また、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると答えた児童は、70%で平均を35ポイント上回っている。
- 計画を立てて勉強している児童は75%で、平均を約45ポイント上回り、1日2時間以上勉強している児童は約55%で平均を25ポイント上回っている。
- 自分にはよいところがあると答えた児童は75%、学校のきまりを守っていると答えた児童は90%、人の役に立つ人間になりたいと答えた児童は95%と、全国平均をそれぞれ約30ポイント、40ポイント、20ポイント上回っている。また、全児童がいじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている。
- △将来の夢や目標をもっている児童は58%で、平均を10ポイント下回っている。また、地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童(約30%)、ボランティア活動に参加したことがある児童(62%)は、それぞれ平均を12ポイント、26ポイント上回っているが、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童は、平均を6ポイント下回っている。また、1日の読書時間が10分より少ない児童は45%で、平均を12ポイント上回っている。

以上の事項を踏まえた本校の課題

- ※多面的に捉えたり、分析的に捉えたりして、論理的に思考・判断する力の育成
- ※目的に応じて、複数の本や文章を読み、要旨をまとめたり自分の考えを書いたりする力の育成
- ※やるべきことは計画を立てて努力できるが、さらに夢や目標を持ちよりよい自分に高めていこうとする意欲と主体性

◇学校として今まで以上に力を入れたいこと

- ・パワーアップタイムを週1時間位置づけ、基礎基本(漢字・計算)の確実な定着を図る。(確かめプリントやWebラーニングの活用、個別指導の実施)
- ・授業で、いつでも国語辞典を活用できるようにし、語彙力を高め正しく文章を読み取る力を付ける。
- ・考えの過程を大切にしたいノートづくりをする。(根拠をもとにした考えの的確な記述、年3回のノート交流会の実施)
- ・対話型学習を重視し、多様な見方・考え方に会える場を位置づける。(グループ・ペア交流、話し合い活動)
- ・課題やテーマについて、キーワードを用いて自分でまとめを書く場を意図的に設ける
- ・家庭学習の充実を図り、確実な見届けをする。(ドリル学習、高めの学習、パワーアップ週間の設定)

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・基本的な生活習慣づくりをする。(あいさつ、早寝、早起き、朝ご飯)
- ・テレビやゲーム、インターネットの時間などのルールを親子で話し合う。
- ・学習時間の確保と学習の見届けをする。(ノートの点検、励ましの声かけ)
- ・コミュニケーションの時間を確保する。(会話、ふれあい、親子読書、町図書館の利用など)

